

大阪市総合教育会議に係る意見

東大阪大学 吉岡真知子

幼児教育の充実に向けて

1. 教員、保育者の教育力を高める研修を

各教育現場で「就学前教育カリキュラム」を軸に「知」「徳」「体」を意識した実践を継続し、その実践に対する評価反省を（評価反省の観点）「教育的意図をもった働きかけ」を明確にする。

2. 研修の充実と体制

幼児教育の場は、主に幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設、事業所内保育施設等々であり、それが公立、私立に区分される。このそれぞれに関わる教員、保育士、保育教諭に「大阪市教育振興基本計画」を伝達できる仕組み、研修体制を作る。

3. 家庭と連携していくために

特に、乳幼児期の子どもの育ちは、家庭、保護者との連携が必要である。幼稚園、保育所で実践されている日々の教育実践（教育的意図）を伝え「子どもの育ちと教育」への関心を高めることが必要と考える。

教育目的や乳幼児期の育ちで大切にしなければならないことをどのように伝えるか。

4. 小学校への接続と言うが・・・

「子どもの育ちや学びは連続しています」と就学前教育カリキュラムにも記載されています。

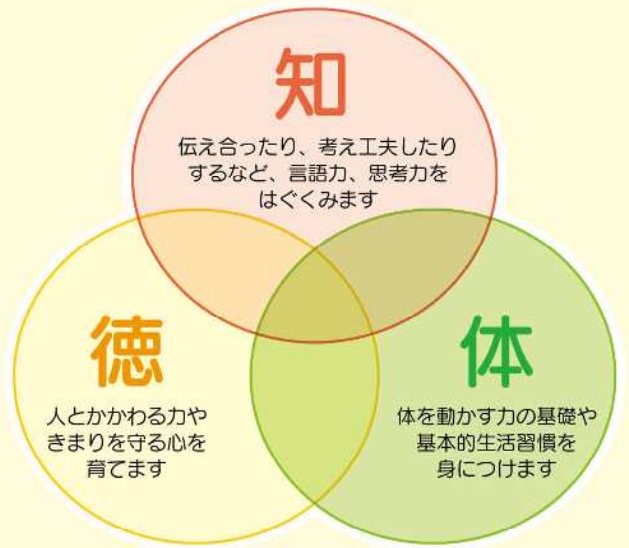
そのために、特に小学校教員が幼稚園や保育所での教育を理解する必要がある。例えば「知」「徳」「体」を意識して教育的意図をもって実践研修（公開保育の場等）される研修の場に必ず小学校教員が加わり意見交換する。また、小学校の公開授業等の機会に幼稚園や保育所の教員、保育士が参加し意見交換する。

指導者側の教育理解を深めることが、「教育の連続、接続」になる。

乳幼児期には…

「知・徳・体」をバランス良く総合的にはぐくむことが大切です。

学びの芽をはぐくむために、指導者の適切な働きかけが大切です。



幼保小連携の充実を図っていくことが大切です。

就学までにはぐくみたい力として



子どもにかかわる全ての方々へ

就学前教育カリキュラムを編成しました！



本カリキュラムのポイント

幼児期は、社会の一員として生きていくための道徳心・社会性、知性や体力の基礎を培う、重要な時期です。そこで、大阪市では、幼児期の教育の充実を図ることを目的として、全ての就学前の子どもたちのためにカリキュラムを編成しました。

子どもたちは、庭に咲いた草花で色水をつくって遊びながら、多くのことを学んでいます。



子どもの育ちや学びは連続しています

子どもが成長していく姿は様々です。
一人ひとりの発達を道筋を理解しながら、成長の過程を受け止め、子どもに応じた援助をすることが大切です。

指導者の働きかけ、指導上大切にしたいこと

0～2歳児

- 子どもの求めに積極的にこたえ、人に対する基本的信頼感を培い、情緒の安定を図ります。
- 自我の育ちを受け止め、自信をもたせるとともに、かんしゃくを起こした時は、子どもの気持ちに寄り添い、立ち直りができるように支えます。



3歳児

- あるがままの姿を受け入れながら、信頼関係をはぐくみ、自己発揮できるように支えます。
- 相手の気持ちにも気付けるように、友達関係の仲立ちをします。



4歳児

- 子どもの気持ちに共感しながら、自己主張と気持ちを抑える時の判断ができるように、支えます。
- 遊ぶ楽しさやルールを伝えるとともに、子ども同士の関係をつなぎ、優しさ、思いやりを育てます。



5歳児

- 小学校教育への見通しをもち、遊びの中で学びの芽をはぐくみます。
- 友だちとの関係の中で、仲間としての連帯感を育て、課題を解決する力、自己を調整する力をはぐくみます。



家庭のかかわり

1歳頃まで

- 「抱っこ大好き」
- 思いや要求を受け止め、愛情たっぷり抱っこをしましょう。
 - 顔をのぞきこみ、ゆったり話しかけましょう。



1歳頃～2歳頃

- 「いやだ いやだ」
- 思うとおりにできずに、泣いたり、怒ったりすることもありますが、気持ちを認めて、意欲を育てましょう。
 - 大人を求めてきたときには、しっかり、優しく受け入れましょう。

3歳頃～

- 「自分でできたよ!!!」
- 自分でしようとする気持ちを見守りながら、少し手助けをしましょう。
 - 子ども自身に「自分でできた」といった達成感や自信がもてるように、かかわりましょう。

4歳頃～

- 「友達、大好きー」
- 友だちと遊ぶ機会を積極的に作りましょう。
 - 成長過程で経験する、不安や葛藤の気持ちに共感し、寄り添いましょう。



おうちの人、先生、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん大好き!!



ためしてみよう

お兄さん、お姉さん かつこいいな! すてきだな!!



できるまで、がんばろう!



行ってらっしゃーい



もうすぐ1年生 うれしいな

5歳頃～

- 「どうして? なんでなんで?」
- 身の回りの様々なことを、不思議に思う気持ちを大切に、想像したり、話したりする楽しさを、味わう機会をつくりましょう。

就学前頃

- 「学校に行くの、楽しみだな」
- 進学への期待、関心もてるように、話をしていきましょう。



おとなの役割

子どものこころのよりどころ 安全基地になりましょう
子どもの育ちを理解し、じっくりと待ちましょ
子どもを取り巻く全ての大人が連携をとりましょ

日々の子どもの育ちを喜び合いましょ

